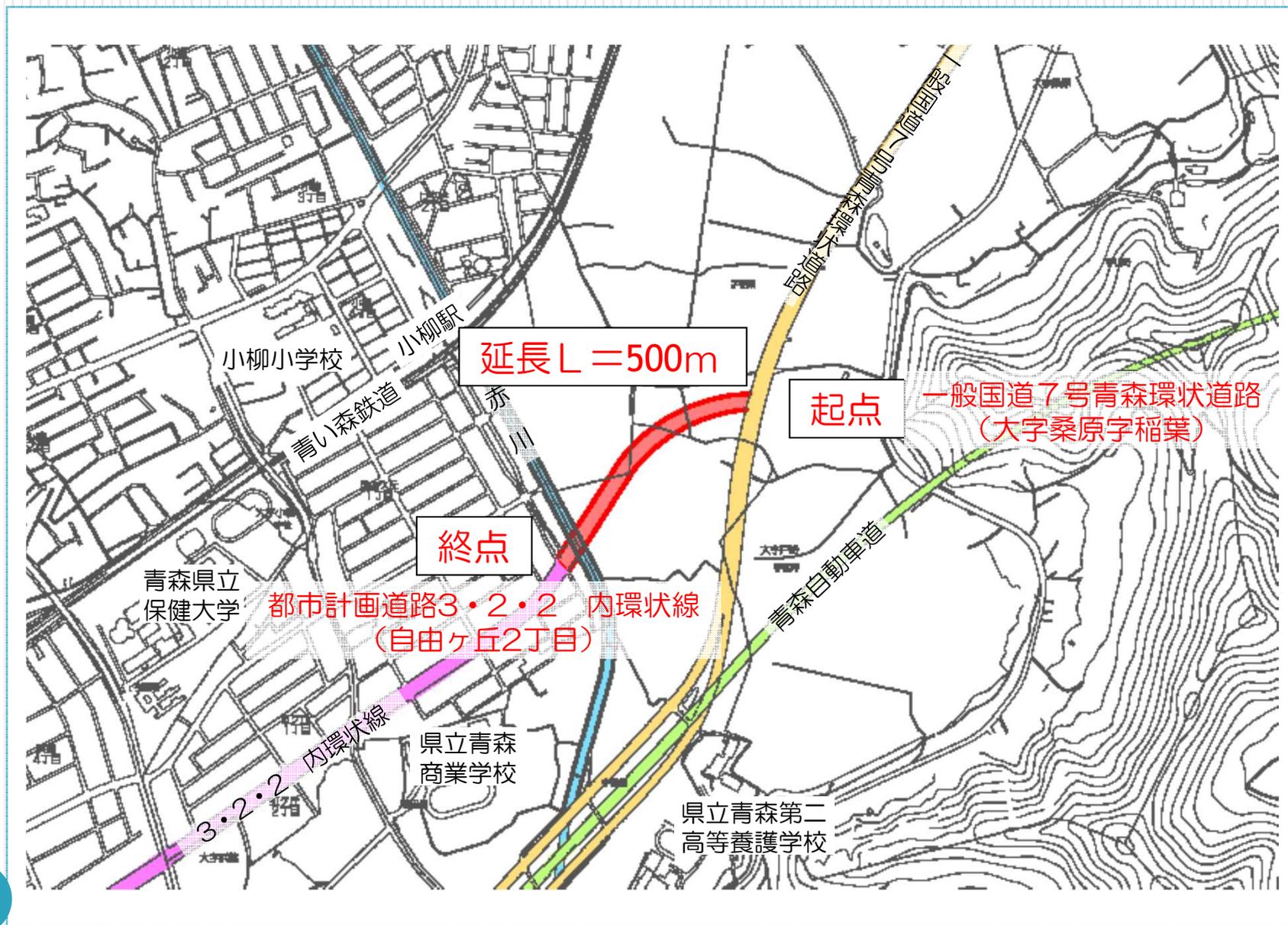


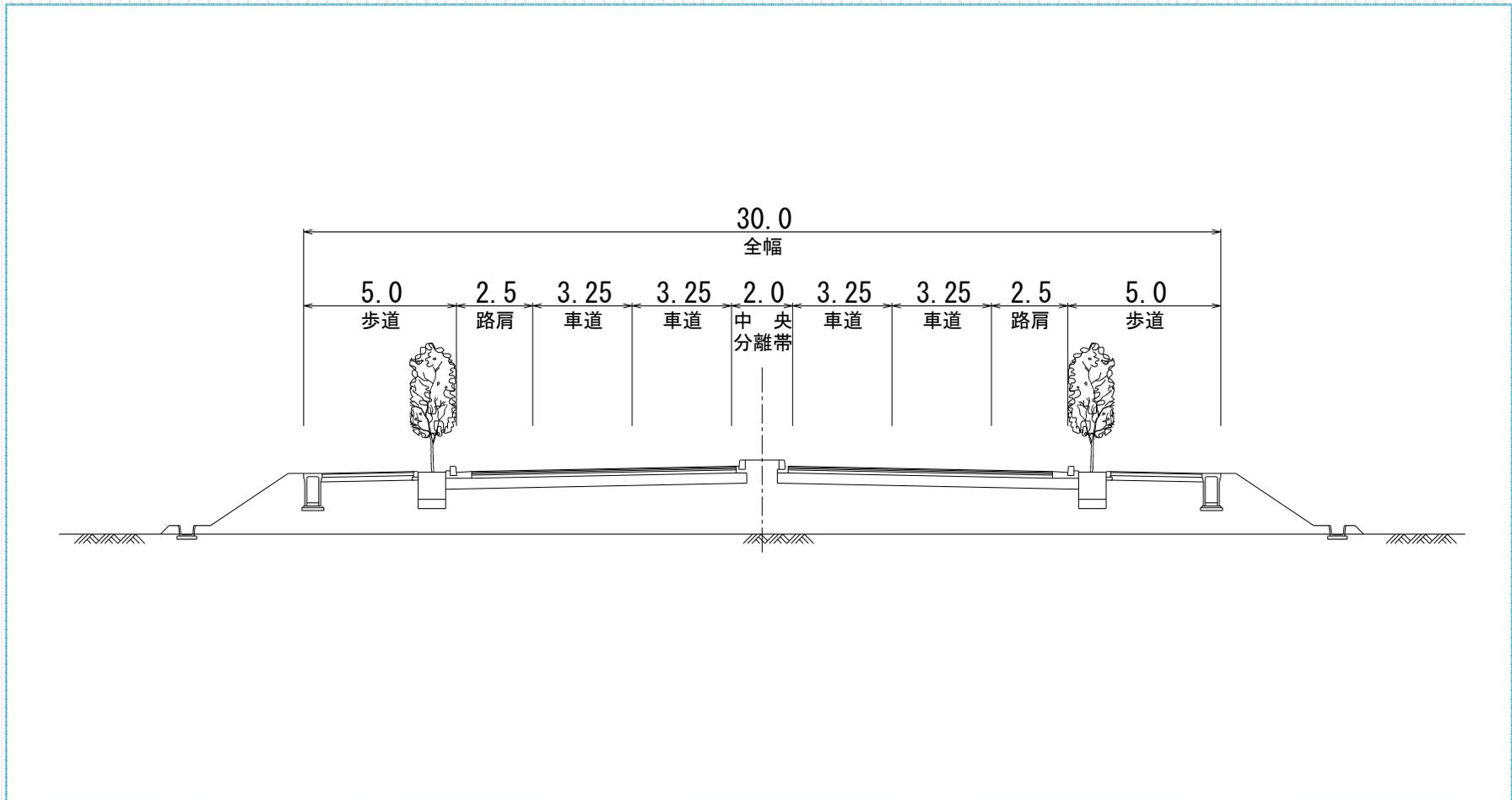
桑原29号線道路整備事業

青森市都市整備部 道路建設課

事業概要



標準横断面図



事業の進捗状況



	執行額 (百万円)	計画全体に対する進捗
事業費割合	988	52.7%
うち①用地費	225	100.0%
②工事費	705	44.3%
③その他	58	100.0%

平成14年度 事業着手・測量・設計・調査業務委託
 平成15～19年度 用地買収
 取得面積約12,900㎡ (H19完了)
 平成20年度～ 工事着手(軟弱地盤対策等)

起点側

一般国道7号青森環状道路（青森市大字桑原字稻葉）



終点側

都市計画道路3・2・2内環状線（青森市自由ヶ丘二丁目）



費用便益比 (B/C) について

道路の便益とは

- ① 走行時間短縮便益
- ② 走行経費減少便益
- ③ 交通事故減少便益

① 走行時間短縮便益・・・道路整備により短縮された時間や車両を他の用途に活用することで得られる便益。

② 走行経費減少便益・・・道路整備による燃費の向上により、ガソリン代やタイヤ等の摩擦損失等を軽減できる便益。

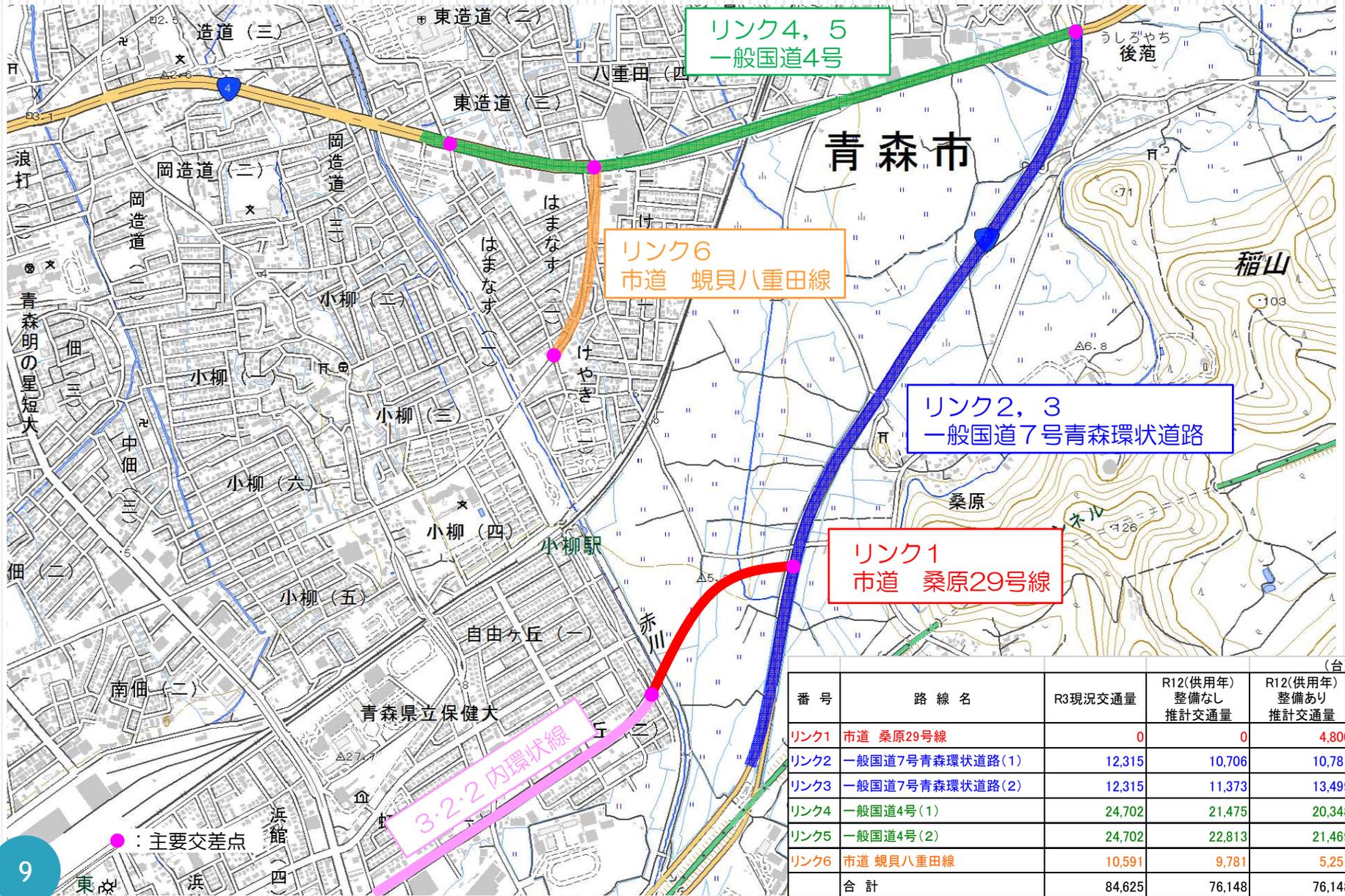
③ 交通事故減少便益・・・道路整備により交通事故における社会的損失が、軽減される効果。

・費用便益比 (B/C) の算出方法

$$\text{費用便益比 (B/C) の算出} = \frac{\text{便益の現在価値}}{\text{費用の現在価値}}$$

・道路の便益には交通量が大きく影響する

周辺道路の推計交通量



費用対効果の分析

・費用便益比 (B/C)

$$\text{費用便益比 (B/C) の算出} = \frac{\text{便益の現在価値}^{\ast 1}}{\text{費用の現在価値}^{\ast 2}}$$
$$\frac{1,686\text{百万円}}{2,018\text{百万円}} = 0.835$$

※1 走行時間短縮便益、走行経費減少便益、交通事故減少便益を現在価値に換算したものの合計

※2 建設投資額と維持管理費を現在価値に換算したものの合計

・修正費用便益比 (B/C * α)

$$\text{費用便益比 (B/C) の算出} = \frac{\text{便益の現在価値} \times \text{地方生活圏別地域修正係数}^{\ast 3}}{\text{費用の現在価値}}$$
$$\frac{1,686\text{百万円} \times 1.404}{2,018\text{百万円}} = 1.173$$

※3 地域修正係数は、東京都を基準として物価水準、家賃・地代水準、所得水準等を基に算出したもの

今後の対応方針

